

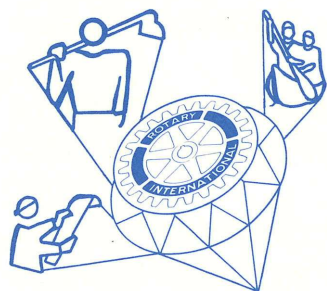


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

No. 142 1989年8月25日



国際ロータリー会長 ヒュー・M・アーチャー

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

ENJOY ROTARY!

**ロータリーを
楽しもう!**

本日の予定 1989年8月25日(第144回)

ビュッフェスタイル例会のため卓話はございません。

先週報告

1989年8月18日 第143回

『オクラホマの日本人』

後 藤 信 夫 君/当クラブ会員

(株)帝国データバンク 代表取締役副社長

司 会: 村 川 優 前会長

♪ロータリーソング: 「それでこそロータリー」

ソングリーダー: E.A. ZALOOM 君

ニコニコボックス紹介: 村 上 満 君

来 客 紹 介: 永 井 克 彦 君

出席状況: 会員 51 名中/出席 30 名/欠席 21 名

来客 9 名(地方 2 名・都内 7 名) ゲスト 1 名

◎会長報告

ロータリー財団奨学生の円城寺香さんが8月26日に出版します。米国のコロンビア大学ジャーナリズム学科で、1年間ジャーナリズムの勉強をすることになっています。

◎第275地区地区大会実行委員会報告

田島実行委員長を中心に地区大会実行委員会が編成されました。全員いずれかの委員会に所属していただくことになっています。決意を新たにして、地区大会の成功のために協力して下さい。

◎慶事披露

100% 出席 13 年 沖 宏 之 君

◎親睦活動委員会報告

恒例となりました職業奉仕委員会、親睦活動委員会合同の秋の旅行を、今年は足を北陸路に向け、下記の通り計画いたしました。

クラブとして年一度の一泊旅行でありますので、御夫人ご同伴にて奮っての参加をお願い申し上げます。

〔期 日〕 11月22日(水)~23日(木)

〔見 学 会〕 山中塗りの巨匠・川北良造氏の工房と作品の見学

〔味覚、観光〕 越前ガニ、長浜城、那谷寺、吉崎御坊他

〔宿 泊〕 山代温泉・ホテル百万石

TEL 07617 (7) 1111

〔費 用〕 夫人同伴の場合 1人 130,000円
お1人で参加の場合 125,000円

◎第3回日本ロータリー親睦ゴルフ合同大会

日 時 11月6日(月)

会 場 相模カンツリー倶楽部

参加資格 全国ロータリアン HDCP 24以下

競技方法 18ホールストロークプレイ

参 加 費 15,000円

募集人数 180名 1クラブから2~3名

ニコニコボックス

(順不同・敬称略)

花田 力(大阪天王寺RC) 故郷の東京(中野で生まれて)のクラブ例会に出席させて頂いて。

後藤 信夫 本日スピーチをさせていただきます。

村上 満 娘の就職内定しました。

山田 順則 宮本さんコピーを有難うございます。

永井 克彦 残暑お見舞い申し上げます。

岩瀬 秀郎 ニコニコお久しぶりです。

8月18日 6件 ¥21,000

それぞれ、多額のご寄附を頂きました。有難うございます。

◎ビジター(敬称略)

花田 力/大阪天王寺RC、能村光太郎/大阪RC、梅垣哲郎/東京RC、田崎喜朗/東京西北RC、郡 定雄/東京品川RC、飯田康夫/東京日本橋RC、藤崎安義・小見山了一・鈴木喜七/東京南RC

◎ゲスト

円城寺 香さん/R財団奨学生

『プログラム委員会』

村 川 優

1年間の例会スケジュール表を目の前に置いて、これを見つめると、春夏秋冬それぞれの例会の雰囲気が想像出来て、面白いものですね。

各委員会が、夏の出発時期、秋から冬の熟成した活躍時期、そして春に入ってから仕上げの時期になってホッとした後悔したり、これが毎年繰り返される。

プログラム委員会も例外ではありません。「面白くて気になる」というと、少年雑誌のモットーのようですが、1年間の計画作りに活躍しています。

赤松副委員長から「お前は去年1年会長職で忙しかったから、今年は少し楽をさせよう」という温い心くばりのお言葉を頂いているので、それに甘えて委員の皆さんにすっかりおんぶにだっこのお世話になっています。

自分の知らない職場の方々から、各々のご専門の話をきくたびに、世の中には偉い人がいるものだといつも感心します。

会員のみなさん、ぜひ良い卓話者の紹介にご協力下さい、委員（赤松、山本、小西、村上）に一言お知らせ下されば、あとはチャンと準備します。

『親睦活動委員会』

吉 田 用 親

四大奉仕活動の中のクラブ奉仕活動の一つとして、親睦活動委員会がある訳ですが、川鍋クラブ奉仕委員長の、本年度の重点活動の一つに、会員増強と並んで新会員の受け入れ融合を中心とした親睦活動が挙げられているものと思います。

四期目に入った当クラブは歴代会長の基本方針として、先ず会員相互の親睦をはかることを最も大切な目標として努力が重ねられ、佐藤会長のいわれるように、親睦の豊かな良いクラブになっていると思います。然しながら、その中身を良く見てみますと、会員相互の親睦と、相互理解には、大きなバラつきがあり、特に比較的入会期間の少ない会員のそれは、交際期間の短かさだけでは説明できないギャップを感じます。この傾向は放置すれば会員が増えるに従って強くなり折角作り上げた当クラブの良さが消えてしまうことになりかねません。当委員会では、この点を十分認識し活動を進めたいと思いますので、会員の皆様の積極的な御協力（例えば例会場で声をかけるとか、催物の参加を呼びかけるとか）を是非お願いすると同時に、新会員の皆様も、極力、クラブに溶け込む努力をお願いしたいと思います。

『会員増強委員会』

齊 藤 茂 之

図らずも会員増強委員長をお引き受けすることになりました。

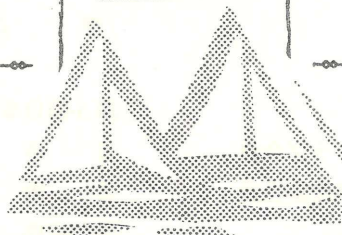
クラブ運営の中で、一番やりがいのある役と心得ております。その成否がただちにクラブ活性化に、又財政面の潤いに大きく寄与してきますので、恐い役でもあります。

前委員長の田中武さんが大いに健闘され良い結果を残されました。その方法をそっくり真似て行くつもりです。クラブの中を4つの班に分け、各班で5名の候補者を推薦して頂く、合格率？を加味しまして今期中に14名の新会員を確保する。

ロータリーの場合常に問題に成るのが職業分類でありませんが、余程のだぶりがなにかぎり分類の項目のほうが膨大な数字です、御安心下さい。

今迄当クラブとしては避けてきた職業分類に属する方もおりました。経済性を優先させざるおえないと思います。女性会員も今期からどんどん増加していくと思います。会員選考委員会と協調して進めていくつもりです。

新委員長 ご挨拶



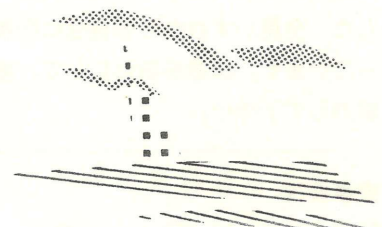
『出席委員会』

E. アンソニー・ザルーム

このたび出席委員長に任命されました。当委員会といたしましては、何といても高い出席率の維持をはかりたいと思っております。目標は90%を凌駕することです。

7月の出席状況を見ますと、これは喜ばしいことです。今後このペースを守り、さらに向上させるための具体的なプランとしまして、出席率70%未満になった方に招聘のお電話をしようと思っています。

ヒュー・アーチャー新会長の掲げた Enjoy Rotary のテーマは、会員一人ひとりが毎週出席し、親睦をはかり、よろこびを感じる事が原則だと思われます。そのためにも会員の皆様の積極的参加を是非お願い申し上げます。



会 員 寄 稿

『自由と平等』

佐藤 幸雄

今年はフランス革命 200 周年に当たり、各地で祝賀記念の行事が華やかに行われた。自由、平等、博愛の理想を掲げたフランス革命は、その後の世界史に大きな影響を与え、近代史への幕を開いたと言ってもよからう。

ところで、最近自由と平等に関し、少し考えさせられた。それは、今年も新入社員を迎えて会社幹部全員による歓迎会を催した時のことである。宴もたけなわになって、あちこちで楽しい話の輪が出来ていた頃、2、3 人の女子新入社員が「一緒に写真を撮らせて」と寄ってきた。側に居合わせた女子も、「私も、私も」と集まって来て、忽ち 8、9 人がカメラに収まった。出来上がった写真は、極めて自然な雰囲気皆んな笑顔がすばらしかった。そこで、「夢のある会社、明るい職場」を標榜している我社のイメージにふさわしいと思い、テレホンカードにし、お客様や学校の先生にさし上げた。また写真に写った新入社員にも数枚づつ配ることにし、人数も少ないゆえ、私から直接手渡した。不意のことゆえ、本人達は大喜びしたが、しばらくして、写真に入らなかった人達が「不公平だ」とブブブ言っていると知った。確かに不公平である。百人近い新入社員の中で特定の者だけが社長と一緒に写真に収まり、それがテレホンカードとなり、しかもそのカードを無料で頂戴したわけだからである。しばらく経って、数名の新入社員にこの件につきどう思うか聞いてみた。明確な返答はなかったが、皆それ程問題にしていなかった。そこで私は問題を広げて、「自由と平等」というテーマで、自由を押し進めればどうなるか、平等を徹底的に追求すればどうなるか、活気のある社会を築く上で自由の限界は、平等の限界は、という問題意識で次の機会に思いつくことを話し合おうと提案した。どのような議論になるか楽しみである。

自由と平等とは基本的に矛盾する思想である。しかも、2 つとも現代人間社会にとって幸福とバイタリティの源泉である。矛盾する 2 つの理想を同時に掲げたことが、フランス革命の偉大さを示しているとも言えよう。

そう言えば、R. I. の 4 つのテストの「真実、公平、好意と友情、みんなのために」も、それぞれ独立したチェック項目だが、4 つをすべて満足させることに留意すると共に、問題に応じて重点を考えることが必要となろう。日頃の訓練により直感して過まらずという境地を目指したい。

『近況報告』

永井 克彦

今年の 5 月、私にとっては人生における一大転換を余儀なくさせられました。25 年間勤務してまいりましたコーティング材を主力とする化学会社から、出資関連会社とは言え、まったく異業種であるファッション会社の社長を突然何の引継ぎも無く仰せつかったわけです。

正に、硬派から軟派への 180 度の転換でございます。新宿マイシティとか横浜ルミネといった駅ビルを中心に、下着を含めての婦人服の小売専門道を 28 店舗展開しているわけですが、いずれにしても扱っている商品は全部女性物、社員の大半も若い女の子でございます。

前の会社の連中は無責任にも「華やかな商売で楽しいでしょう、何と言っても女性相手ですからなー」とか「男冥利につきますなー」などとおっしゃいます。冗談じゃない、外で見るのと現実は大違いです。とにかく元々“遊び”を知らない真面目人間で、しかも 25 年間化学会社というまったく女性に縁の無い環境に育った私にとっては、社長業の難しさもさる事ながら、大変な環境変化の中、とまどいの連続でございます。

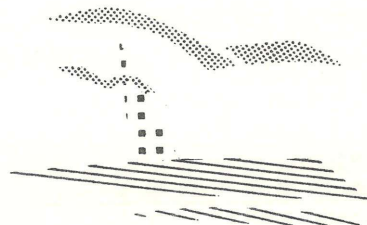
現代の若い人達の消費感覚には成熟と言う言葉が存在しうのだろうかと思う程、個性化し多様化しています。しかもこれでもか、これでもかと彼らに情報を提供する仕掛人のタフさには、正直こちらが疲れてしまいます。

自分のところの女の子を含め若い人達とのコミュニケーションの難しさを痛感します。ある人がこんな事を言っていました。「私達の行動は、過去の思い出の影響を受けます。過去をあきらめきれない気持を「未練」といいます。若者だけが変化しているのではなく、“おじさん”の方が過去の影響を受けやすいだけです。つまり「未練」にしばられているのかもしれない」

「未練」にこだわってはいは、ファッションビジネスは経営出来ないと言う事でございます。

感性の乏しい社長と言われたい様、過去の未練を断ち切って悪戦苦闘の毎日でございます。自分がエンジョイする前に、いかに他人様がエンジョイしてくれるかを考えながら、エンジョイする事の難しさを痛感しております。

以上入会 1 年未満の新人自己紹介をかねました近況報告です。



1989年9月18日 卓話(イニシェーションスピーチ)

『オクラホマの日本人』

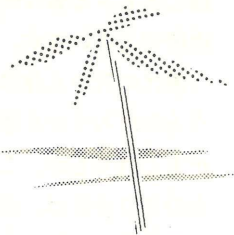
後 藤 信 夫 君/当クラブ会員
(株)帝国データバンク 代表取締役副社長

『陶然共忘機』

関 征 春

初めて金曜日の例会に出席させていただいたのが7月7日。その帰り道に、何やら小さい頃行っていた日曜教会を思い出しました。それは、合唱したり小銭を寄付したりで、1週間に一度、普段のリズムとは全く違う別の雰囲気だったのです。それから40年たった今、会社の仕事で忙しく飛びまわっていますが、金曜日のこの1時間は、その日曜教会と同じ様に、別世界を感じております。私のマンネリ化した仕事のリズムに刺激があるのです。戦争中に作られたレコードを今の再生機器で聞かせていただいたり、芦川さんのミニコンサートがあったり、現天皇の、坊主頭ではしゃがれている頃のスライドを見せていただいたり、仕事を離れてのオアシスです。でもこのイベントの影で苦労されている会長はじめ多くのロータリアンの方々がおられるわけで、私ばかりが楽しんではいけないとも思っています……。

ついでに私事で恐縮ですが、メンバーの方々の趣味とかなり共通したことをしておりますので、披露させていただきます。美術(油絵、水彩画、墨絵、陶芸、彫刻)、ゴルフ、テニス、写真、釣り、お酒を入れながらの人生談義です。共通の趣味を持たれている方々にお声を掛けさせていただくこともあると思いますが、そのときはヨロシクお願いいたします。



◎R.I. 情報(7月号より)

ロータリー・クイズ:

1. ロータリー発祥の都市と年月日は?
2. 最初のロータリー・クラブの創立会員とその職業は?
3. 創始者たちが初めて会合を開いたビルの名称と部屋番号は?
4. 最初のロータリー・クラブの初代会長は誰ですか?

-
1. シカゴ、1905年2月23日
 2. ポール P. ハリス、弁護士; シルベスター・シル、石炭商; ガスターパス E. ロア、鮫山技師; ハナム
 3. コニチ・ビル、711号室
 4. シルベスター・シル

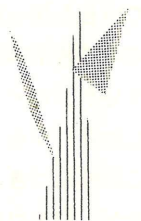


O.S.U. (オクラホマ州立大学)で私のニックネームはCC(シーシー)であった。たまたま私がカナディアンクラブのウイスキーを飲んでいて、ルームメイト(タイ人)が命名してくれたものである。ラッキーなことにこのニックネームのおかげで同じ寮の友人達には

すぐおぼえられた。東洋人の顔をしたのがCCというけったいな呼び方をされれば、誰でもおぼえてくれた。

9月からの新学期ではやはり新入生が多く入学してくるがそのため色々とパーティーが催される。(だいたい湖のそばでキャンプファイアーを囲んでビールを飲むのである。だいたい学生は金を持っていない。)必ずそれ等には参加した。日曜日には寮の友達と生ビールのたるを湖に運び野球をする。周囲にはビルもなければ人もいない。そんな中で東洋人が活躍すれば目立つ訳である。(少々スポーツには自信があった。)

楽しみの一つに数カ月に一度スーパーに5、6本の大根が入荷する時がある。そのうちの一本を買ってきておでんを作る。その他の具はジャガイモ、人参、ウィンナ、卵などである。この味が又格別であった。たしか名札にはDYKONとあったような気がする。



ご投稿いただきました会員の皆様ありがとうございました。特に 会員寄稿には、日頃のお考えや趣味、紀行、感想、信条等自由な内容で書いていただきたいと思います。

今のところ残稿がございませんので皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

(クラブ会報委員・武下)

◎次週予定 1989年9月1日(金)(第145回)

ビュッフェスタイル例会のため卓話はございません。

受付会計/保科・岩瀬 来客紹介/柴本

ソングリーダー/村上 ニコニコボックス/大日方

各担当の会員の方は、11時50分迄にご出席願います。

東京新南ロータリークラブ 会長=佐藤 定宏 副会長=川鍋 達朗 幹事=馬場 一廣 会報=大日方 真
事務所 〒107 東京都港区赤坂 2-22-19 南部坂アネックス 201号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004
例会日 金曜日 12時30分 例会場 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂 1-12-33 TEL. 03-505-1111